

企業の成長と持続可能な社会の実現のために

責任ある企業活動を通して、 人々の健康と幸せを追求します

私たちオリンパスは社会の一員として、価値観を共有し、事業活動を通じて世の中に新しい価値を提供することで、人々の健康と幸せの実現に努めてまいります。

オリンパスは世界をリードする事業を通じて、グローバル規模で企業の社会的責任を果たしてまいります。私たちは100年以上にわたり、革新的な製品・サービスを通じて、世界の人々の健康と安心、心の豊かさを実現し、社会にとって意義のある価値を提供してきました。

特に、患者さんの苦痛軽減やQOL向上、医学・科学の分野に

おける経済的価値の創出といったソリューションを提供することで、世界の医療に貢献してきました。

私たちはESG(環境・社会・ガバナンス)の観点を取り入れた取り組みを積極的に行うことで、持続可能な社会のために貢献できると考えています。そして、このような活動によって、当社もまた企業価値を向上させ、持続可能な成長を実現してまいります。

ESGエンゲージメント

当社が注力すべきESGの観点を十分に理解し、重要課題を特定するために、私たちは社内外のさまざまなステークホルダーとの対話を定期的に行っています。そこには、顧客、従業員とその家族、株主・投資家、サプライヤー、地域社会、国際的な行政機関および規制当局、標準化団体が含まれています。

このような対話を経て、まず6つの重要なESG領域を絞り込み、強化すべき4つの取り組みを定めました。

6つのESG領域

- | | |
|----------------|---------|
| 1. コーポレートガバナンス | 4. 環境 |
| 2. 経済的持続性 | 5. 人的資源 |
| 3. 製品の持続可能性 | 6. 社会 |

ESGに関する取り組み

- 医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上
- コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力
- 責任あるサプライチェーンの推進
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進



医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上

私たちは、世界中の人々に病気の早期発見と治療のための医療情報と教育機会を提供するよう努めています。また、がん啓発活動を含むソーシャルキャンペーンを通じて、世界中の多くの地域社会に向けて疾患に対する早期発見を促すための啓発活動を支援しています。

また、医師や外科医をはじめとする医療従事者を対象とした実践的な研修を、各地で積極的に実施しています。こうした支援活動は、地域の医学会や医療従事者との強いつながりと、継続的かつ広範な教育支援によって実現しています。

2020年4月には、メディカル&サイエンティフィックアフェアーズ部門を新設し、当部門を統括するチーフメディカルオフィサー(CMO)にロス・ディー・セガン(MBA、Fellow of American College of Surgeons(FACS))が就任しました。詳細については、28ページをご参照ください。

取り組みの成果

- オリンパス100周年記念事業としてのがん啓発活動
- 医学的知見と安全科学
- 安全・効率的な製品トレーニング
- エビデンス作成、生物統計学とデータ管理、ライブラリーサイエンス

コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力

私たちは、強固なコンプライアンスプログラムに取り組み、バリューチェーン全体にわたる製品の安全性・品質の水準を厳格に維持することに注力しています。そのため、当社は厳格な社内規則を採用し、事業を展開する各地域の法規制当局に確実に準拠するように努めています。定期的な研修と透明性のある企業文化によって、すべてのステークホルダーの皆さまに本取り組みを周知いたします。

取り組みの成果

- 行動規範を一新し、全オリンパスグループに浸透させるために18言語で展開
- 包括的な税務方針の策定
- リプロセス規制の強化による医療行政政策の変更に伴うリスク対応の見直しならびに強化

責任あるサプライチェーンの推進

責任ある強固なサプライチェーンマネジメント(SCM)を確立することで、私たちは組織全体で持続可能な価値創造を促進します。当社のサプライチェーンシステムと基準に基づき、環境および人権を含む社会問題に取り組んでいます。

私たちは、公正で透明性の高い方法で取引先との関係を構築・強化します。また、すべての関係者の利益向上のために、製品の持続可能性を継続的にモニターし、強化に努めています。

取り組みの成果

- 24時間365日利用可能な多言語のグローバル通報受付窓口を導入
- 国内外の主要サプライヤーを対象としたサプライヤーアンケートを毎年実施
- 数百社のサプライヤーへの説明会を開催し、参加率100%を達成

ダイバーシティ・インクルージョンの推進

私たちは、組織全体のダイバーシティとインクルージョンを促進することで、より魅力的で競争力のある革新的な事業展開を実現していけると考えています。そのため、性別、障がい、国籍、人種に関係なく、多様な人材にやりがいのある仕事を提供し、専門的かつ持続的に成長することを目指しています。

さらには、無意識の偏見に関する研修や、世界中の企業と連携してベストプラクティスの育成に積極的に取り組んでいます。

取り組みの成果

- 米州地域統括会社のOlympus Corporation of the Americasの社内ネットワークグループ(Colleague Affinity Networks: CANs)における活動によって、ダイバーシティ・インクルージョンに対する理解を促進
- 医療や育児、社会的な支援を求める従業員への特別な支援を含む包括的な医療給付など、従業員へのワークライフ・バランス支援・福利厚生充実へのオリンパスグループ全体での取り組み

企業の成長と持続可能な社会の実現のために

チーフメディカル オフィサーに聞く

2020年4月、ロス・ディー・セガンがオリンパスのチーフメディカルオフィサー（以降CMO）に就任しました。ロス・ディー・セガンは、経験豊富な臨床医であり、オリンパスが真のグローバル・メドテックカンパニーを目指すこの重要な変革の時期に、グローバルな役割を担うことになりました。ここではCMOの新たな役割と、オリンパスがいかにグローバル・メドテックカンパニーへと進化を遂げていくべきかについて、話を聞きました。



チーフメディカルオフィサー
(CMO)

ロス・ディー・セガン

メディカル&サイエンティフィックアフェアーズ(MSA)とは何ですか？

MSAIは、医学・患者さんに対する医療機器の安全、臨床研究、医療専門知識、専門教育、医療経済、政策・マーケットアクセス、医療機関向け助成や関連する契約、感染防止・感染対策など多岐にわたる重要な分野の専門能力が統合されたグローバルな機能です。

明確で重要なミッションを有するMSA

私たちは医療や科学に関係する専門的な能力によって、患者さんおよび、社内の関係部門に以下のサービスを提供します。それはグローバルに地域医療に対して有益な製品やソリューションをまとめて確実に提供することにより達成できます。また、それらは定量的・定性的に実施される必要があります。

- 患者さんにとって最も重要な臨床的成果の改善
- QOLの向上および患者さんの苦痛軽減
- 患者さんおよび医療システムのための経済的価値の創出

私たちは常に患者さんの視点に立ち、科学的根拠の提示を行い、健全な判断を提供していくことで患者さんに貢献していきたいと考えています。

Q ご経歴について教えてください。

私がオリンパスの医療機器に初めて出会ったのは、軍外科医としてのキャリア初期のことでした。オリンパス製品は、術後の患者さんの回復時間の早さや感染リスクの低減、入院期間の短縮などの見た目のコスト削減だけでなく、病院のさまざまなリソースを節約できるメリットがありました。まだ駆け出し時代の私は、低侵襲手術の際にそういったオリンパス製品を手にすることができてとても興奮しました。今回の私のCMO就任は、大変明確な意味を持つと思います。つまり、研究から臨床にいたるまで、患者さんが経験するすべてのステップに対して、当社は尽力し続けることを表明したということだと思います。

Q 新型コロナウイルス感染症によって、医療環境にどのような変化が見られましたか？

これまでに非常に多くの変化がありました。その中には、私たち全員に関わる医療システムに影響を及ぼし続けるものもあるでしょう。しかし、私にとって最大の関心事の一つはパンデミックの結果、手術や検査のキャンセルや延期が発生し、その結果生じる膨大な影響にこれから対処していく医療従事者をどのように支援していくかということです。

学術誌British Journal of Surgeryのとある研究によると、新型コロナウイルス感染症がパンデミックであると宣言されてから、全世界で2,800万件以上の手術が12週間以上もの間、延期となりました。これは同ウイルスの感染リスクを最小化し、医療資源の逼迫を緩和することに役立ちましたが、その結果、大腸がん

やその他関連疾患などの未診断の症例が急増するリスクが発生してしまいました。こうした状況では、優先順位の高い患者さんへの選択的な手術を行いつつ、徐々に従来のスケジュールに戻していくことが重要となります。

我々が取り組んでいるものの一つとして、遠隔コンサルティング、遠隔保守サービス、オンライントレーニングがあり、すでに大きな成果が上がりつつあります。オンライントレーニングなどのウェブ上での研修に参加した医療従事者の数は、従来の対面式トレーニングよりもすでに参加者が多くなってきています。112,000人以上の医師が、この4月・5月の間に世界中で430回もの研修会に参加しており、こうした機会がさらに増えていくことを期待しています。

Q オリンパスが世界をリードするメドテックカンパニーとして発展していくことをどのようにお考えですか？

当社には他に類を見ないプロダクトイノベーションの歴史があり、さらに発展させていきたいと思っています。より困難なアンメットニーズ*1を満たす製品とソリューションのポートフォリオを開発し続けることで、より多くの患者さんに大きな価値をもたらし、世界中の医療システムを一層強力にサポートすることが可能になると思います。

私が思うに、今日のメドテック業界は、とてもエキサイティングです。この業界は今、大きな変化が起きています。メドテック業界は常に優れた技術にフォーカスしてきました。最先端の技術革新で患者さんに便益をもたらすために、画像診断と処置技術を融合させてきました。こうした技術のイノベーションを一層進めるために世界中の保健当局は、製品の安全性と有効性に関する客観的なエビデンスをかつてない高いレベルで求めています。また、重要なアンメットニーズに対する差別化要因やさまざまな価値を客観的に示すデータは、医師自身による機器選定や診療報酬額、製品価格設定に必要になってきています。昨今、機器購入の意思決定は、集中購買機関や政府レベルの経済性視点での影響をますます受けています。

こうした競合市場の下、医学研究者や臨床医との効果的な連携や高品質な教育・訓練の必要性はかつてないほど高まっています。ほとんどのグローバル・メドテックカンパニーは、研究開発を迅速に進めており、その事業全体にわたって効果的な戦略とポートフォリオマネジメントを行っています。一方で、私たちの事業運営は大きく改善していますが、より一層強固にしていくことが必要です。

メドテック業界のリーダーになるためには、市場においてNo.1

またはNo.2の地位を確保しなければなりません。オリンパスが内視鏡分野でNo.1であることはすばらしいことですが、より幅広い分野でNo.1またはNo.2を達成することが我々の長期的な成功にとっては重要です。

このようなチャンスに、私は大変興奮しています。目標に向かって挑戦し、明確な戦略を掲げ、躍動的でハイパフォーマンスな組織の一員であることを非常に嬉しく思っています。

Q グループ全体で経営戦略を遂行するための計画をお聞かせください。

最も重要なことは、オリンパスグループ全体で、積極的に患者さん中心のリスク管理と医療機器の安全への取り組みを確実に行うことです。

第二に、質の高い臨床的・科学的知見を創出、発信することで、創造する価値を客観的に測定することで、我々のもつ知見や技術は、より有効な科学的証拠を生み出すことにつながり、そのことにより私たちは最大限に世の中に貢献することができると思っています。

その次には、アンメットニーズを特定し、その知見を製品ポートフォリオ、事業戦略、意思決定に活かす必要があります。

Q ESGの観点からオリンパスにとって重要だと感じているのはなぜですか？

ESGは、どの分野で事業活動を行っているかにかかわらず、すべてのビジネスにとって大変重要です。ヘルスケア分野に注力する当社としては、「ESGとはバイタルサイン*2のようなもの」と表現することができます。オリンパスは、すべてのステークホルダーにとって長期的かつ持続可能な価値を創造する責任がある企業であり、環境、社会、組織運営に対して常に最善策を考え、できることをすべて行う義務があります。ESGに関連する課題を継続的にモニターし、改善していくという当社の姿勢が、当社への評価につながり、提供する製品やサービスが信頼できることをお客さまに示すシグナルになると考えます。

*1 アンメットニーズ：一般的には、顧客も気づいていない潜在的なニーズ、顧客が満たされていないニーズ、解決法が見つからない物事に対するニーズなどを指す。医療業界では、いまだに治療法が見つからない疾患に対する医療ニーズをこう表現することがある。

*2 バイタルサイン：医学用語。体温、脈拍、血圧などの生命兆候。